



第1回 **第39回日本診療放射線技師学術大会 (39th JCRT)**
 第30回東アジア学術交流大会 (30th EACRT)



熊本への道 Go To KUMAMOTO

大会長 西小野 昭人
 (一般社団法人熊本県放射線技師会 会長)



学術大会開催のお知らせ

第39回日本診療放射線技師学術大会を、2023年9月29日(金)から10月1日(日)までの3日間、熊本城ホールで開催致します。今回は東アジア学術交流大会 (East Asia Conference of Radiological Technologists : EACRT) も開催される国際大会となります。

本大会は、日本診療放射線技師会のスローガン「タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう」の下、サブタイトルとして「復興の地からはじまる技術革新」と定め、皆さまを熊本へお迎えすべく準備を進めています。

さて、「復興の地からはじまる技術革新」というサブタイトルを選んだ理由として、2016年4月の熊本地震で全国の会員の皆さまからたくさんのご支援を頂いたことを受け、何かしらの恩返しをしたいという思いで熊本県の実行委員の間で決定致しました。ポスターデザインは見ていただくと分かると思いますが、「ONE PIECE 麦わらの一味」の銅像を配置しています。これは熊本地震から復興に向かう熊本に対し、尾田栄一郎氏から「必ず助けに行く」とメッセージを頂き立ち上がった「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」の一環で建造された銅像で、熊本県内に10体存在します。会場からそう遠くない場所に設置されたものもありますので、ぜひ、ご覧になっていただければと思います。

全ての参加会員の皆さまにご来熊いただきたいと思いますところですが、まだまだ新型コロナウイルスの影響は残っています。しかしながら、学術大会のスタイルは大きく変わり、ハイブリッド開催も当たり前になってきた今日、本大会もハイブリッド開催とし、現地参加できない会員にも新たな技術について学んでいただけるように準備をしております。多くの皆さまの演題登録とご参加をお待ちしています。

